

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 14 週（ 2025/3/31～4/6 ）感染症発生動向調査速報値（ 2025/4/9 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **142** 人、定点医療機関当たり **3.09** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科17定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

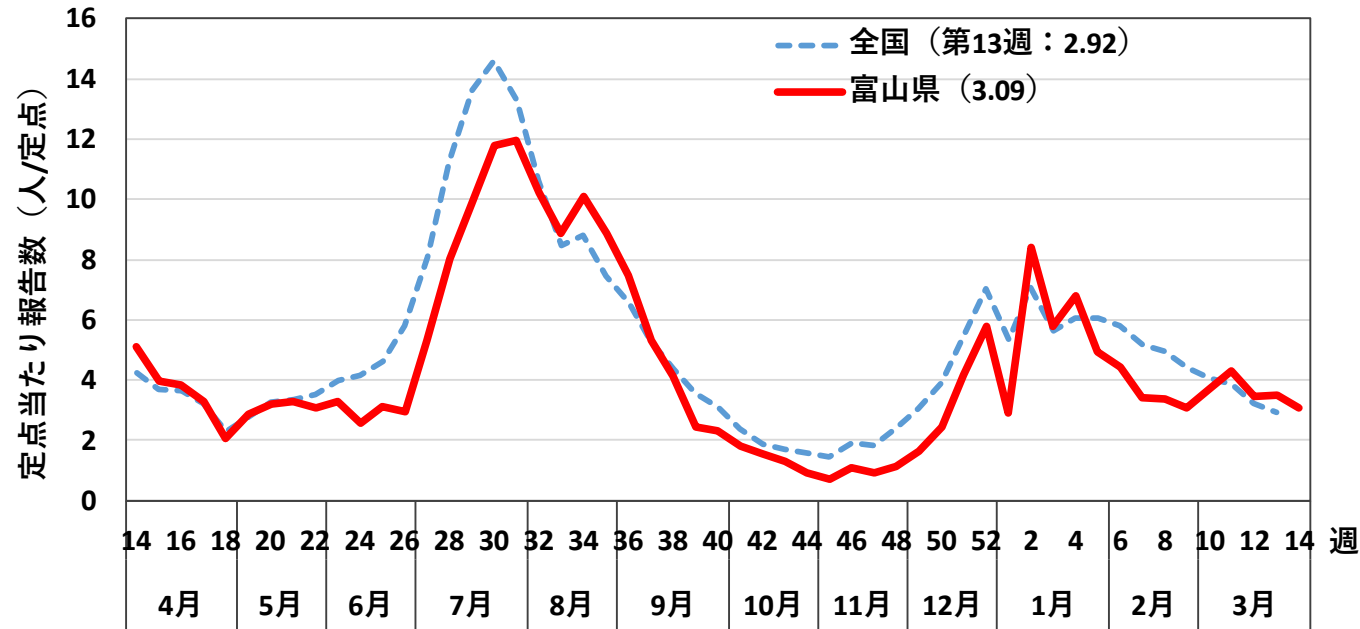
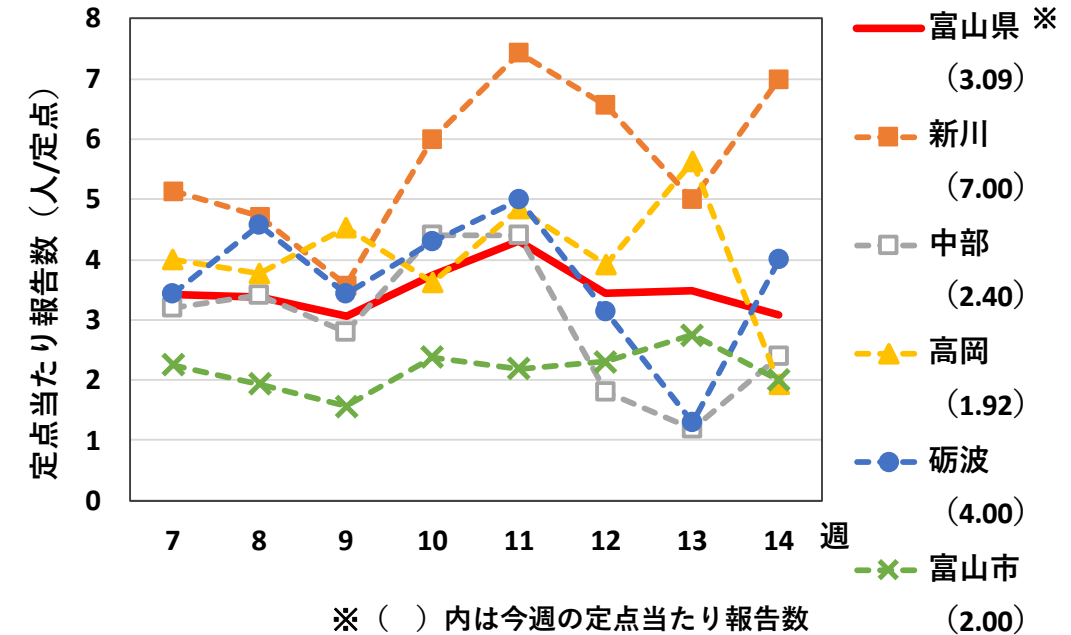


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は3.09人/定点であり、先週（3.48人/定点）から減少した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、高岡、富山市管内で先週から減少した一方、新川、中部、砺波管内で増加した。（図2）。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

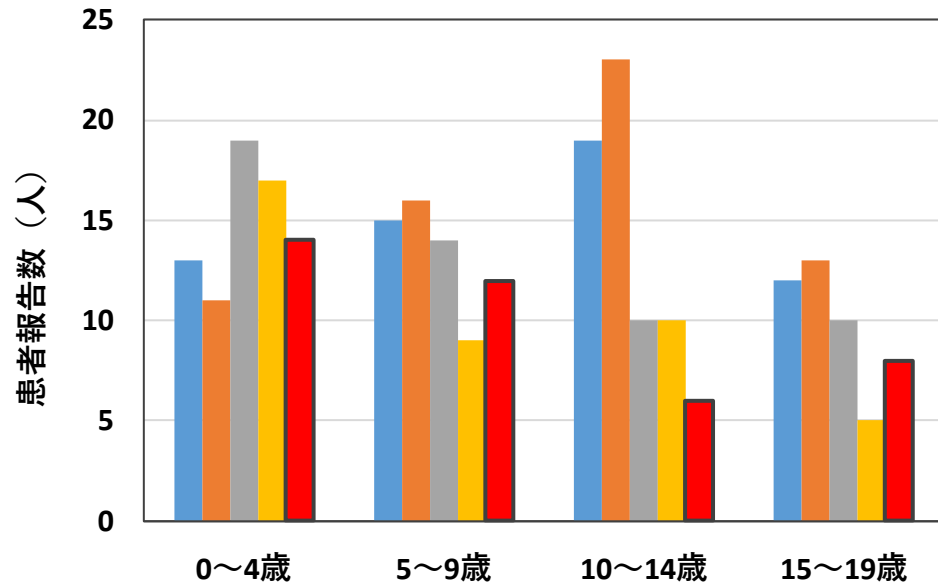
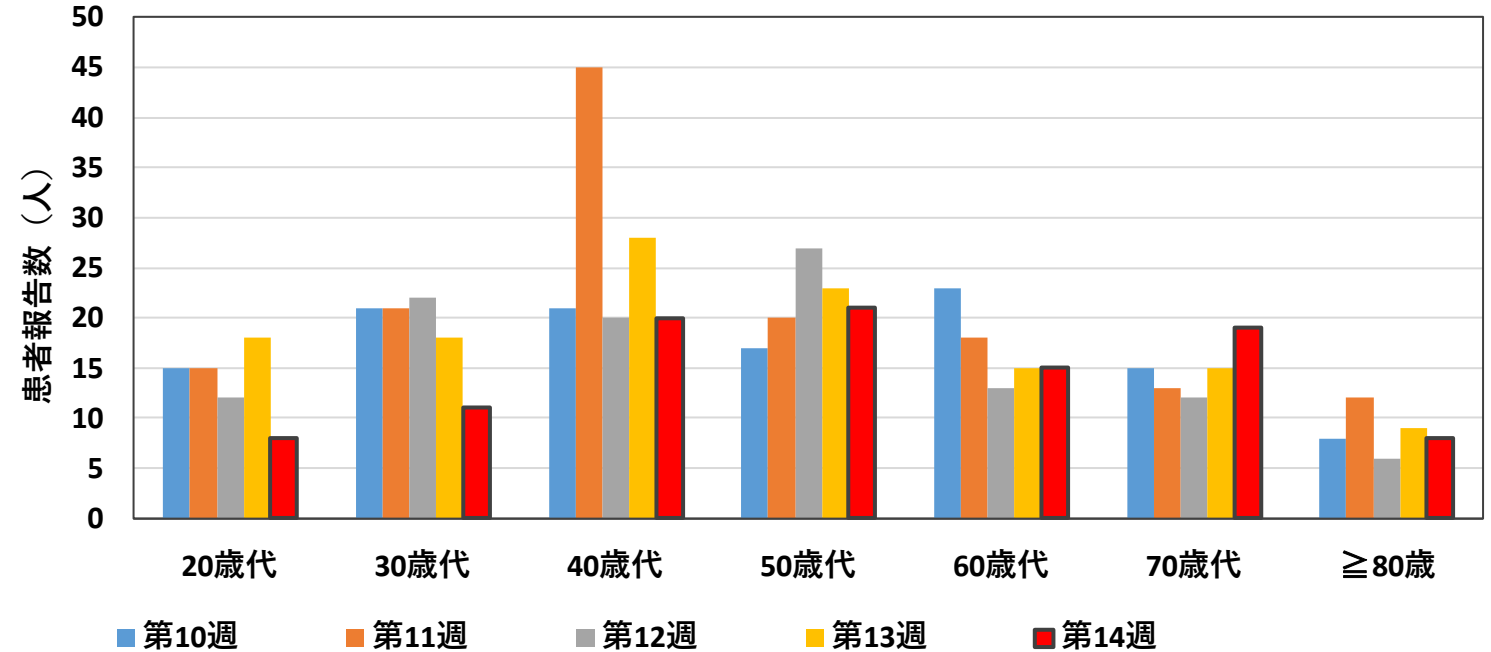


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：17定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0~4歳、10~14歳、20~50歳代、80歳以上で先週から減少した。
5~9歳、15~19歳、70歳代で先週から増加した。
- 但し、今週は報告があった定点医療機関数が通常（48定点）より2定点（内科2定点）少なく、データの解釈に注意が必要である。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

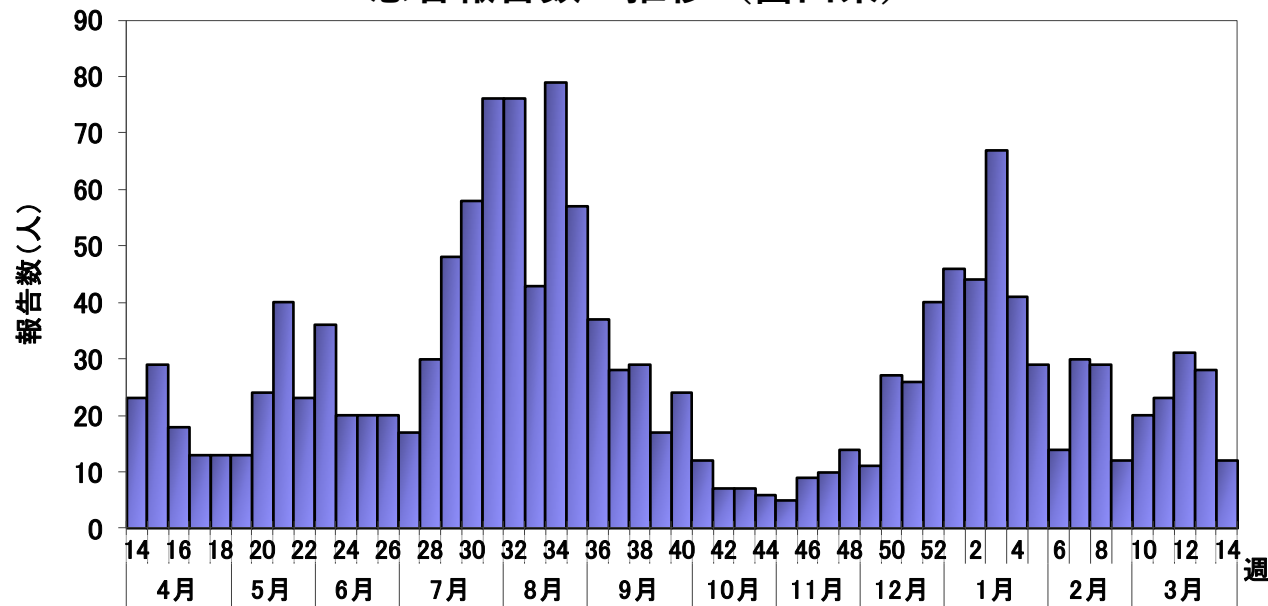
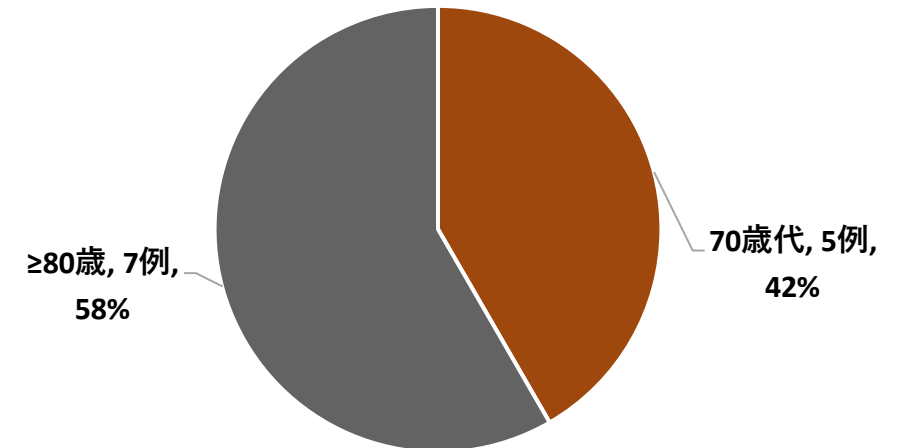


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第14週、12例）



※割合（%）は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第14週に12例の入院報告があり、先週（28例）から減少した（図4）。
- ・ 患者の年代は、70歳代が5例、80歳以上が7例で、全例70歳以上であった（図5）。
- ・ 県内のCOVID-19の患者報告数は、インフルエンザ/COVID-19定点、入院サーベイランス共に今週減少した。全国的にも減少傾向が継続している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。